

1 事業概要

		課名	リニア推進課	事業No.	45
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	S50	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画				
	法令・例規等				
事業目的		対象	リニア中央新幹線整備		
		意図	早期開業		

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	2027年開業に向け、J R 東海の工事計画について関係機関や地元地区と調整し進めました。地上区間では、高架橋部及び駅部の用地取得に向けた協議を進めています。トンネル区間では、妙琴公園内等で中央アルプストンネル掘削に向けた準備工事を進めており、風越山トンネルでは、シールド工法による掘削の工事計画を検討しました。野底川以西の水資源事後調査をH31年1月から開始しています。道水路の機能回復においては地権者・地元との合意形成のもと事業を進めました。発生土置き場では、具体的な造成計画を検討し、関係地区と協議を進めています。リニア駅周辺整備のための基金を積み立てました。		駅整備推進基金積立金				104,804	
			リニア関連道路改良工事に伴う用地測量業務委託料				19,849	
			リニア建設促進飯伊地区期成同盟会負担金				333	
			自動車購入費(軽箱バン)				1,140	
			事務費ほか				3,530	
			その他の経費				0	
活動指標			指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度
	リニア関連市道改良整備に係る調査計画	地区	2	2	2			
	環境影響評価事後調査水資源調査の実施	地区	0	5	6			
	H30用地組合設立 / R1関係地区調整	地区	0	1	2			
	発生土造成置き場の詳細計画	箇所	16	2	2			
30年度 決算 (千円)	予算額	133,382	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	129,656	(そ) ふるさと寄附金 100,000千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 財産収入 4,804千円				
		県支出金	0	(そ) 繰越金 19,062千円				
		地方債	0	29→30 繰越明許費 19,062千円				
		その他	123,866					
一般財源	5,790							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	2	1	17	10	1	28,578	24,852	リニア推進事業費	
2	1	2	1	17	10	3	104,804	104,804	リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金積立金	
3										
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> <li>・道水路の機能回復では、座光寺地区下段における環境対策(防音防災フード)の課題解決との調整が必要です。</li> <li>・水資源の事後調査結果に注視し、減水等の兆候が確認された場合は、関係機関と情報を共有し、必要な措置を講じていただく必要があります。</li> <li>・発生土置き場に関し、万全な安全対策と下流域地区の理解が必要です。また発生土置き場が不足している状況です。</li> </ul>								
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防音防災フードの設置に向けて、県の協力を得て、地元とともにJ R 東海に強く求めていきます。</li> <li>・水資源事後調査結果の公表と対策について、J R 東海と調整します。</li> <li>・発生土置き場は、下流域地区等への十分で丁寧な説明を求めていきます。確保については、県等と連携し検討します。</li> </ul>								
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・J R 東海や県等と連携・協議調整し、地権者・地元地区との合意形成のもとに事業を進めます。</li> <li>・上郷北条地区における道水路の機能回復工事着手に向け、地権者協議と用地取得を進め、埋蔵文化財調査を実施します。</li> <li>・座光寺地区においては令和2年度の用地買収、物件補償に向け、リニア本線等の他事業との調整を行います。</li> </ul>								